

新国際基盤生命学特論3について

－ 英語論文作成の実践的方法 －

予定日時：5月22日（金） 1：00～ 3：00、3：30～5：30

23日（土）10：00～12：00、1：30～3：30

教室： 理学部2号館4F講堂

武庫川女子大学教授・野口ジュディ先生に英語論文作成の実践的方法に関して講義を行っていただきます。野口先生は長年英語論文の校閲に携わってこられ、多くの著書を出しておられます。現在論文作成中または近い将来に英語論文を書こうとしている博士課程の大学院生・研究者にはもちろん、修士課程学生にも役に立つでしょう。

本講義に参加希望の方は5月12日（火）午後5時までにメールでお知らせください。登録なしでの参加も可能ですが、人数把握のためなるべく登録をお願いします。送付先：柳澤 春明 <gcoe_lec@biol.s.u-tokyo.ac.jp>

この講義では、いくつかの斬新な試みを行います。十分な理解のために、できるだけ以下の準備をお願いします。

1. 野口先生の著書「理系英語のライティング」（アルク、2007年、定価3800円）を、個人または研究室で購入してください。

2. 上記の図書に付属した CD-ROM 収録のコンコーダンスソフト ALC TT、または AntConc (<http://www.antlab.sci.waseda.ac.jp/software.html>) をインストールしてください。前者は後者の簡略版で Windows 専用、後者は Windows 用と Mac 用があります。（Mac 用は動作にいろいろ問題があるようですので、必ず事前に試用しておいてください。）

3. 講義では、無線（または有線）LAN を用いて、ファイルを閲覧しながら演習が行われる予定です。参加者はできるだけノートパソコンを持参してください。（理学部の無線 LAN を初めて使う方は、臨時のライセンス手続きを行っていただく必要があります。方法については後ほどお知らせします）

4. 各自の研究分野に関連する適当な論文 2 報を選び、それぞれを（同じファイル名で）pdf, txt と、できれば html 形式のファイルとして保存し、5月20日（水）午後5時までに係に送ってください。それらを corpus として使用します。フォルダー名、ファイル名の付け方については、別紙を参照してください。送付先：柳澤 春明 <gcoe_lec@biol.s.u-tokyo.ac.jp>

また、2-3 の論文を持参のパソコンで見られるようにしておくか、あるいは、パソコンが使えない方はプリントアウトしたものを持参してください。それらの論文を使って、効果的な読み方、利用の仕方に関する演習を行います。

特に講義を有効に活用していただくために、意欲的な受講生には、以下の課題いずれか一つ（複数でも可）をお願いすることにします。多くの参加を期待します。詳細は講義初日に説明があります。

- A. 講義初日の内容を参考に、自ら作成中の論文のタイトルとアブストラクト（またはイントロダクション）を教材として二日目の講義前にメールで提供する。6～8名。
- B. 講義初日の内容を参考に、この講義用の corpus（係が用意する）から、語彙検索を行い、結果を各自のパソコンを使って二日目に発表する。6～8名。
- C. リスニングに関する Web site の使用法。講義初日に有用なウェブサイトについて説明があるので、その中から一つ課題を選んで、2日目午後11時5分間の発表を行う。3～5名。

単位を必要とされる学生は各専攻教務係で予め履修登録をしてください。 問い合わせ先：武田洋幸（内24431）